

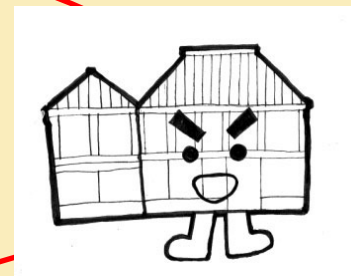
本格的な活用始まる...静岡市との合併・・・そしてNPO法人に

平成13年8月 修復工事完成

蒲原町NPO審議会のプロポーザルコンペによる審査を経て

平成14年11月 蒲原町と委託契約を結び、本格的な活用が始まる。

- ・歴史的建造物の価値を活かした利用
- ・留守番ではない管理
- ・町内外の人に開かれた運営
- ・子供たちが親しみの持てる運営



平成15年～ 春と秋のコンサート・昔の暮らし体験事業（お泊り会、大掃除と餅つき）・すてき講座・おもしろコレクション展などの企画展示・NPO団体活動発表会・各種貸館展示など、いろいろなイベントを実施して、五十嵐邸と会の認知度アップにつとめた。

平成18年3月 静岡市と合併

平成18年8月 NPO法人の法人格取得

現在の活動

7つの事業をメインに活動中！

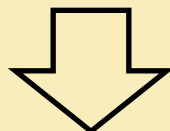
1. ガイド事業・・・邸内のガイド
2. 施設の管理運営事業・・・週5日の開館
3. 保存・継承事業...ニュースレターの発行・まちなみ講演会の実施
4. 伝統文化体験事業・・・昔のくらし体験事業・旧暦であそぶ
5. 講演会・音楽会開催事業...春秋のコンサート・各種講演会の実施
6. 登録有形文化財活用ネットワーク事業・・・全国の登録有形文化財活用ライブラリーの設立・活用のノウハウを学ぶ研修会・専門家等による「活用お助け隊」の結成・まちなみゼミの開催、参加
7. その他事業・・・喫茶サロン事業・五十嵐邸友の会事業など



これからの活動・・・東日本大震災をふまえて

平成23年3月11日の東日本大震災

東海地震に備えて、蒲原宿の町並みや歴史的建造物を
守るために、いまできることはないだろうか？



平成24年度

文化庁の「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」の
文化財建造物防災に関する活動分野に応募し、採択
「東海大地震に備えて旧蒲原宿の文化財建造物を地域で守る事業」を実施



東海大地震に備えて旧蒲原宿の文化財建造物を地域で守る事業

目的

文化財建造物の被災の状況や海洋型地震の規模等の見直しなどを踏まえ、文化財建造物と地域を守る活動に取り組む。

事業の内容

1. 災害発生時に文化財建造物を守る防災活動方策の検討
 - ①旧五十嵐歯科医院の被災時の行動計画の検討
 - ②防災拠点として旧五十嵐歯科医院を機能させる活用や整備方策の検討
 - ③歴史的町並みの特性を活かした災害時対応シミュレーションの検討
2. 地震や津波時の破損による文化財建造物の解体進行を防ぐ方策検討
 - ①建築士等による被災後の行動マニュアルの検討
 - ②旧五十嵐邸を考える会等による被災前、被災後の行動計画の検討
3. 津波被害等を受けた場合の文化財建造物や歴史的町並みの事前復興計画の検討
4. しずおか町並みゼミ等を活用したデータベースとネットワークの構築

一定の成果が得られたこと

旧五十嵐邸を地域防災の核とする取組みが進んだ

①旧五十嵐邸で災害が起きた時の行動計画をたてた

避難誘導のルート確認・市の消防計画の検証→提言へ

②旧五十嵐邸を災害から守る設備の検証を行った

初期消火に役立つ消火バケツ、ホースなどの設置

③周辺地区の防災にも寄与できる取り組み内容を整理

地域の防災資源(消火栓・消火器・空き地・樹木・湧水・路地・通り土間・井戸・かまどなど)をまちあるきで探し、地域ごとの防災資源マップを地域の人たちと作成

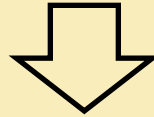


これからの取組み

●歴史的町並みの「事前復興」に向けた課題の把握

①建築士と協力して検討する事柄を把握した

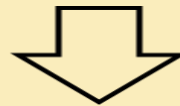
- ・被害判定、応急修理の相談窓口づくり、職人などの斡旋 など



静岡県ヘリテージセンター（SHEC）との連携

②災害時に向けて会員が日頃から準備する事柄の把握

- ・所有者に日頃から建物の価値や感謝の気持ちを伝える など



蒲原宿まちなみの会との連携

蒲原宿内の歴史的建造物の居住者を中心にまちなみ・まちづくりをすすめる団体

●蒲原宿の歴史文化を活かした地域防災の取組みに着手

①身の回りにある歴史文化を活かした防災資源マップの作成

蒲原宿内を対象に地域の防災資源(消火栓・消火器・空き地・樹木・湧水・路地・通り土間・井戸・かまどなど)をまちあるきで探し、地域ごとの防災資源マップを地域の人たちと作成



②地域の防災訓練に参加し、より効果を高める方法を考えた

五十嵐邸を防災拠点とした防災訓練を実施

かまどを使った炊き出し訓練

池の水を使った消火活動

医師による市民トリアージ講習会の開催

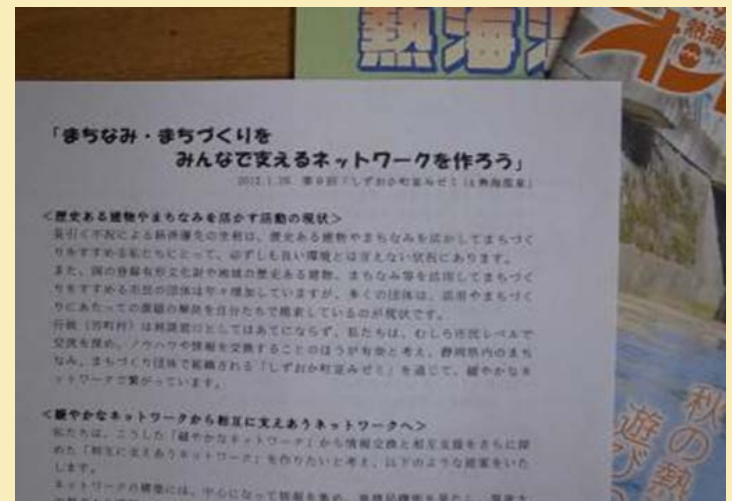
●しずおか町並みゼミ等を活用したデータベースとネットワークの構築

静岡県内でまちなみ・まちづくりを
すすめる38団体により年1回開催



- リストづくりと情報・資料を集める。
- 手に取れるし、パソコンでも見られる「まちなみ・まちづくりライブラリー」をつくる。
- 相談やお知らせを載せる掲示版をつくる
- 専門家による活用「お助け隊」をつくる。
- 町並みゼミを続ける。

**まちなみ・まちづくりを
みんなで支えるゆるやかな
ネットワークづくりを呼びかけた。**



●もうすぐ15年・・・活動を続けてこられたのは・・・

- ①みんなのやる気
- ②ゆるやかなつながりとなごやかな雰囲気
- ③専門家のみなさんの協力
- ④地域のみなさんのあたたかい見守り
- ⑤心強い五十嵐邸ファン、蒲原ファンの存在



●そして・・・これからの課題

- ①会員の高齢化・・・平均年齢60歳以上、最高齢はもうすぐ80歳！
- ②財源の確保・・・市からの委託料だけでは不安
- ③行政とのかかわり・・・市所有の弊害

これからもがんばるぞ！！

